

## 2024 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【英語】

今回は読解問題3題、語い・文法問題3題、和文英訳問題1題という大問構成となっています。

### 【1】 対話文読解問題

ジュディが最近のハナの様子を尋ねると、ハナは大学での授業とパートで忙しいと答える。ジュディはハナの体力と学業について気をかけ、仕事の時間を減らすことを提案する。ハナはこれに賛成し、マネージャーと話し合うことを決意する、という内容の対話文です。問1の適文選択は空所Bが難問です。省略されている語句を考えて、空所Bに入る適切な文を選びます。問2の適語選択(語形変化)の空所は、熟語 <get used to -ing> 「-することに慣れる」から、動名詞(ing形)にするのがポイントです。toの後に動詞の原形ではなく、動名詞がくる熟語は入試必須項目です。問5の下線部中の after all 「だって～だから」、問6の空所5に入る適語選択の正解となる make sense 「意味を成す」は難関校では頻出の熟語です。

### 【2】 長文読解問題1 (ストーリー)

B-747の機長を務めていた筆者は、あるフライト中、病の治療のためのクリニックへ向かうモハメド・アリに会った。筆者はボクシングを経験したことがあり、アリの大ファンだった。彼とのエピソードを通じて、彼の家族への愛と親切さを深く感じた。特に、筆者の息子に贈られたアリのサイン入り写真は忘れられない思い出となった、という内容のエッセイです。問2の語句整序は盲点となりやすい問題ですが、<a friend of mine> 「私の友人の一人」などと同様の語順になると考えます。したがって、代名詞 his が所有格ではなく、所有代名詞であると捉えられれば、正解を得られると思います。問4,問5の適語選択はいずれも単語の知識ではなく、文脈を把握する能力を問うものです。空所あるいは下線部の語の前後を読み取って正解を導き出す姿勢で臨むことが大切です。

### 【3】 長文読解問題2 (記事)

親も子供もスマートフォンに過剰に時間を費やしている。ある医師は、親が子供を無視してスマートフォンを使うことに懸念を抱き、研究することを決意した。彼女は多くの親が食事中でもスマートフォンを手放さず、子供よりもスマートフォンに集中していることを発見し、対面会話が子供の学びにとって重要だと指摘する。別の科学者はデジタル時代の育児についての書籍を書いている。彼女は親がスマートフォ

ンを使うことで子供が感じる悲しみや怒り，孤独を説明し，子供たちにとって否定的な影響を与える可能性がある」と懸念している，という内容の説明文です。ほとんどが文脈把握能力を問うものである中で，問7は動詞 matter 「重要である」，問9は in the long run 「長い目で見ると」，問10は think twice 「じっくり考える」の意味を問う知識問題と言えます。

#### 【4】 適語(句)選択問題

1・2は文脈を把握しながら解く問題です。両方とも後の文の内容から，空所に入る適切な語を判断します。3は文法問題で，<be 動詞+過去分詞>の受動態の文であると判断します。

#### 【5】 語句整序問題

1は<It takes+人+時間+to->「<人>が->するのに<時間>が…かかる」の語順となり，この表現は入試必須表現です。2は<must(助動詞)+be+過去分詞>の形の文にします。

#### 【6】 同音異義語問題

2はやや難問です。この時期では，動詞 hire 「雇う」を知っている受験者は少ないと思われます。同音異義語を答える問題は，問題集などであらかじめ頻出語のペアを知っておくと解きやすいかと思います。

#### 【7】 和文英訳問題

和文英訳問題は，自分の持っている語いや文法の知識を駆使して答えることが必要です。特に2は，自分の土俵に引き込んでから考える，つまり，与えられた日本語を英語に直しやすい表現に置き換えた上で問題に当たることが大切です。

## 2024 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【数学】

問題セットとして、難易度の幅を広くとることを意識しました。受験勉強を本格的に初めて間もない人も少なからずいると思いますが、しっかりと復習して、現在の自分の立ち位置を確認するきっかけにしてほしいと思います。

### 【1】 計算問題（多項式の乗法、平方根の計算、因数分解、展開を利用した計算）

すべて基本的な計算問題です。しっかりと見直しをして、落とさないようにしましょう。(4)はさまざまな解法がありますが、適切な組み合わせを見つけることで計算量を大きく減らすことができます。

### 【2】 小問集合（展開を利用した計算、二等辺三角形の性質、平方根の利用、直角三角形、円の性質）

どれもやや複雑な問題で、問題文の誘導や条件を丁寧に読み取ることが求められます。(1)のような和と積に関する求値問題、(3)のような平方根を用いた整数問題は入試で頻出の問題です。確実に理解して、誘導がない場合や応用された場合にも対応できるようにしたいところです。

### 【3】 1次関数（座標上の三角形の面積、等積変形の利用、面積比と線分比）

1次関数と図形の面積に関する問題です。(2)は図形の面積比に関する知識が求められます。(3)は問題文で示されている三角形にのみ注目してしまうとなかなか手の出せない問題であるため、やや難易度は高いと考えています。

### 【4】 平面図形（三角形の合同条件、三角形の合同の利用）

直角三角形の合同に関する問題です。(1)の証明問題は、三角形の合同条件を正確に理解している必要があります。3年生で相似条件を学ぶと混同してしまいがちなので、今のうちに合同について整理しておきましょう。(2)(ii)では、(1)で証明した2組の合同な三角形を根拠に、 $\triangle AED$ が直角三角形であることに気づけるかが問われています。

### 【5】 空間図形（三角錐の体積、複雑な立体の体積）

四面体の体積に関する問題です。問題は非常にシンプルですが、各小問で体積を求めるアプローチはすべて異なります。どれも立体の体積を求めるうえで重要な手法です。そのため、正解できなかった場合も確実に理解したい問題です。

## 【6】 確率（場合分け，確率）

動点をテーマとした確率の問題です。問題文の量が多く，立体を行ったりきたりするという状況に戸惑った人もいるかもしれませんが，題意を理解すれば内容はそこまで複雑ではなく，奇数回目と偶数回目で点 P のありうる頂点が変わります。点 P が動くパターンをしっかりと見出し，正確に解き進める必要があります。A から B までの行き方と B から A までの行き方が同じ個数ある，など，当たり前だが使える手法は散りばめられています。

## 2024 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【国語】

現代文、古文、文法とバランスを考慮して出題しています。文章の内容を論理的に読み取り、それを表現する記述力を試す問題となっています。主に文章の要旨の把握につながる箇所に設問部を設定しているので、読解力を知る目安としてほしいです。現代文に加え、古文でも六十字の記述問題を出題し、学年の最初からしっかり書かせるテストに設定しています。

### 【一】 漢字の読み書き

入試でもよく問われるものを中心に出題しました。特別に難しいものはありませんが、(2)「偉」・(3)「惰」・(4)「諭」は、つくりが共通する他の漢字と間違えないように気を付けましょう。(7)「絡」・(8)「裂」は、音読みで熟語に使われているのを目にすることの方が多いためと思いますが、訓読みもしっかり覚えておきましょう。漢字の問題は、読み書きができるようになるのは勿論のこと、語彙を増やす機会と捉え、学習に役立ててほしいです。

### 【二】 論説文の読解…………… 島田雅彦『深読み日本文学』

古典から現代のA | 小説まで、具体的な作品を取りあげながら筆者の文学論を述べた書籍の序章からの出題です。文学を生み出す前提となった、現世人類の思考や言語の役割が中心的な話題になっています。「言語」をテーマとした文章は入試でもよく取り上げられるので、前提となる知識を得ておくことで読解に非常に役立つでしょう。今回の文章にも出てくる、言語は物事を象徴化することだという内容はどのようなことかよく考え、きちんと理解しておきたいものです。**問二**の記述は、象徴機能と言語の関係にしっかり触れてまとめられるようにしておきましょう。

### 【三】 随筆文の読解…………… 稲葉俊郎『ことばのくすり』より「生産性にひそむ罖」

生産性について、筆者の考えを述べた文章です。筆者が「外的生産性」・「内的生産性」・「いのちの力」と表現しているものが、それぞれ何を表しているのか、それぞれがどのような関係にあるのかを正しくつかむことが、文章全体を把握する鍵になっています。比喩や具体例を多く取り入れているので、それらを手掛かりにして、筆者が言おうとしていることをつかみましょう。**問六**の記述は、具体例を使ってまとめるのではなく、しっかり一般化して述べる必要があります。

**【四】** 古文の読解…………… 『宇治拾遺物語』 卷五ノ七「かな暦あつらへたる事」

出典は、入試では頻出の鎌倉時代の説話集の一つ『宇治拾遺物語』。まずは古文を読み慣れるよう、比較的平易な、短めの文章を選びました。動作の主語、古文単語の意味、登場人物の心情把握、文学史の知識など、これからの古文の学習の基礎となるような事項について出題しました。記述問題については、現代文の読解にも通じるような、登場人物の心情の理由を問う設問です。本文を丁寧に読み、「はじめは…」の「終わりは…」という変化をきちんとつかみとって答えましょう。

**【五】** 文法

高校受験に必須の文法の知識について、主に助動詞と助詞の識別に関して出題しました。間違えた箇所については、十分な復習が必要です。しっかり見直しましょう。

## 2024 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【理科】

物理・化学・生物・地学の4分野からそれぞれ、中学2年生で学習する範囲の問題を中心に出题しました。解いている上で、なじみのないものが題材の問題もしばしばあったのではないのでしょうか。こういった問題を解くには、初めて知る情報と自分のもつ知識をひもづけることが重要であり、そのためにも基本的な用語や公式を正確に身につけることが必要です。

### 【1】 電流とその利用①（電気回路）

電気回路における、電流・電圧・抵抗の関係と、抵抗の変化について問いました。直列回路と並列回路において、電流や電圧がどのようになるかといった正確な知識と、電流、電圧、電力などを正確に計算する力が必要です。

### 【2】 天気とその変化①（大気と雲）

フェーン現象を題材にしました。問題を解く上で重要となる情報がすべて図に書かれていません。問題を解きやすくする工夫の第一歩として、図に数値を書き込むといった工夫をしてほしいところです。また(4)は、答えに至るために数学的な考え方が有効となる設問です。地学分野の計算では少しめづらしいかもしれませんが、柔軟な発想で考えることも重要です。

### 【3】 化学変化と原子・分子①（化学変化、質量）

酸化銀の熱分解の反応の実験に関する問題です。この問題を通して、実験操作、反応の前後の物質の性質の違い、物質の質量の変化、原子の質量比に関する「知識と理解」、「計算力」を試しました。(6)では、反応前の物質と反応後の物質の質量の変化から、物質を構成する元素の質量比を求める問題を出題しました。これらの問題を通して、物質の性質と化学反応における質量の関係の理解を深めてほしいです。

### 【4】 生物のからだのつくりとはたらき（人体）

腎臓の構造とはたらきをメインとした総合問題です。ヒトのからだのつくりとはたらきについて総合的に考え、細胞のつくりや体液のはたらきも含め、生物のからだの仕組みを体系的に理解してほしいです。

## 【5】 天気とその変化②（日本の気象）

近年、毎年のように見舞われる猛暑についての問題です。受験生の大半が初めて目にするであろう「正のインド洋ダイポールモード現象」を題材にしました。こうしたなじみのないものが題材になっている問題に取り組むときは、自分のもっている知識と問題文で説明されている内容をいかにつなげられるかがカギとなります。

## 【6】 電流とその利用②（電磁誘導）

電流と磁力の関係についての問題です。電磁誘導や、コイルによる磁場の発生などについて、日常生活における事柄と関連付けて出題しました。電流と磁力の関連についての知識と理解が必要な問題であり、また、それを問題文で与えられたIH調理器に応用する考察力も必要です。さらに、電力と水温を上げるためのエネルギーについての計算を正確におこなえる力も必要です。

## 【7】 化学変化と原子・分子②（酸化・還元）

銅、マグネシウム、炭素、水素に関する実験と資料に関する問題を通して、酸化・還元に関する「知識と理解」を試しました。酸化・還元反応において、どの物質が酸化されて、どの物質が還元されたかということから、それぞれの物質の酸化されやすさの違いが判断できます。これらの問題を通して、酸化・還元反応における物質の性質の理解を深めてほしいです。

## 【8】 天気とその変化③（日本の気象）

台風を題材にしました。台風の話題については、台風が日本に接近する6～9月に、テレビ等の天気予報でよく取り上げられています。そういった情報にも関心を向けていると、意外と役に立つこともありそうです。



## 2024 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【社会】

地理分野は、公立入試でも必須の基礎事項について理解を試しながら、難関校ならではの詳細な知識事項も織り交ぜて出題しました。歴史分野は、原始～中世の歴史および文化史に関して、基本的な学習がきちんとできているか確認することを意識して出題しました。公民分野は、人権思想の発展と、日本国憲法の三大原則について、基本的な知識を活用しながら、資料・統計・グラフ等の読み取りも交えて、事柄と事柄の関連をつかむことをねらいとして出題しました。

### 【1】 原始～室町時代の歴史

(1)・(3)2・(10)は入試でも頻出である、日本史と世界史の時代感覚を問うものです。特に世界史は日本史との関連を問うものが多いので、今回もそれに沿って出題しました。(3)1・(8)1・(11)はいずれも語句記述ですが、いずれも基本的な内容です。(4)・(7)の経済史に関連する問題も基本レベルです。正誤問題の(2)・(5)・(6)・(8)2・(9)は、いずれもレベルは高くないものの、正確な知識がないと失点しやすい内容となっています。

### 【2】 文化史

やや難しい(6)を除けばいずれも基本レベルですが、特に文化史は他の単元と比較して学習が遅れがちなので、敢えて語句記述の(1)・(5)や誤文訂正の(2)などのレベルを下げることで、学力が正確に結果として現れることを期待した出題となっています。万一、失点が多かった場合には、早めに基本的な内容をひと通り習得しておきましょう。

### 【3】 EU加盟国とヨーロッパの国々

1つ1つの国について、地図上での位置が頭の中に入っていたかが試されているところに、難しさを感じた受験生も多かったのではないのでしょうか。また、ポーランドやセルビアなど主要国ではない国についても準備はできていたでしょうか。(7)は日本の水産物の輸入先ですが、自分が普段食べているものがどこから来ているのかについては、水産物に限らず、日常生活の中で意識するようになってほしいと思います。(12)で問われているような、どこの国がいつ加盟したのかなどのEUの歴史については難関校では出題されません。

#### 【4】日本の工業／資源・エネルギー

石油化学コンビナートや製鉄所については、位置を示した図版が難関校でよく使われます。(3)では、茨城県と新潟県の工業について、その特徴を詳しく記載していますが、難関校に向けてはこれくらいの詳しさを勉強する必要があるでしょう。(6)のような工業種別ごとの出荷額上位県についてのデータは難関校でよく使われます。

#### 【5】人権思想の発展、日本国憲法の三大原則

(1)・(2)・(3)・(5)は、いずれも2年生までに学習した歴史分野に関連した問題であり、3年生で学習する公民分野でも頻出事項であるため、基本的な事柄について、忘れてしまっていないか、歴史の教科書やノートなどを使って確認しておきましょう。(4)・(7)は、ともに日本国憲法の条文からの出題です。別冊の「解答解説集」を読み、憲法のどこにその規定があるか、できればそれらの条文番号とともに覚えておきたいものです。(6)・(8)・(9)は、憲法や人権をめぐる戦後の新しい動きや、人権の国際化についての問題です。教科書ではあまり詳しく書かれていない事柄もありますが、難関校では出題されることがあるため、発展的な問題として出題しました。(10)では、調査の年代や対象の異なる複数のグラフを使って、その特徴や変化の様子を判断する問題です。知識事項の暗記だけでは対応できない、数値を正確に読み取る力が求められているため、制限時間内で正しい答えが出せるよう、グラフを活用することに慣れておきましょう。